



府相公民館の行事の中で最も特徴的なものは、府相区と共催で行う「体育祭」です。地元中学生と地区が協働で実施し、地域全体のふれあいの場として開催しています。中学生にも「役割を持ち、地域の一員として参加する」との位置づけで、企画会議の段階から出席してもらい、「どんな事が一緒にできるのか」を区・公民館役員、体育指導委員と一緒に話し合います。

こうして提案された企画を基に、地区の体育委員や民生委員、保護士などが全体会議で当日の運営や役割分担の確認を行っています。中学生は競技係などを担当し、競技の進行など、地区の役員たちと共に体育祭運営の重要な支えとなっています。

体育祭には、お年寄りから入

園前の幼児まで、府相地区に住む、あらゆる世代の人々が参加。一時は高齢化や住民の参加意識の薄れから衰退が心配されましたが、近年では、幼児・園児の参加者が増えてきました。体育祭にかかわった中学生は、自分たちが一生懸命に行った事業が成功し、多くの人が楽しんでくれる様子を直に見ることで大きく成長します。

年齢や職業に関係なく、幅広い人との交流が、体育祭の一番の魅力だと思います。体育祭という行事を通じて、中学生をはじめ、地域住民がともに成長しあえる関係を築けていると感じます。何より、子どもたちの楽しそうな笑顔や一生懸命な姿を見ていると、子どもたちは地域の宝であり、家庭や地域が一緒に育てていくことの重要性を感じます。



西浦中学校1年  
飯島 康介くん

■陸上を始めたきっかけは  
小学5年生の時、市民陸上競技大会で優勝し、蒲郡市代表として愛知駅伝に出場したのがきっかけです。それから本格的に陸上に取り組むようになり、翌年の愛知駅伝では、区間賞をとることができました。

■どのくらい練習をしているの  
週に5日ぐらい練習をしています。時間は、平日が1時間30分、休日が3時間ぐらいです。

■最近の成績は  
6月12日に豊橋市で行われた全日本中学校通信陸上競技大会東三河予選会(1年1500m)で優勝しました。

(タイム…4分28秒97)

■将来の夢、目標は  
早稲田大学に入学し、箱根駅伝で区間賞をとることが1番の

### 陸上で全国大会優勝、そして箱根駅伝、オリンピックへの道を歩む

目標です。将来的には、実業団に入り、成績を残してオリンピックに出場したいです。

当面の目標は、今年の10月に横浜で行われるジュニアオリンピック陸上競技大会(過去に市内から数人しか出場していない)に出場し、優勝することです。

※ジュニアオリンピック陸上競技大会  
(財)日本陸上競技連盟が主催する中学生の陸上競技大会(全国大会)。全国中学校体育大会(全中)では行われない学年別の種目が行われる。

■最後に陸上の魅力を  
自己ベストが出たときの喜びが一番の魅力です。現在、1500mの持ちタイムは4分28秒ですが、今年のうちには4分15秒までもっていきたいです。(4分15秒は、ジュニアオリンピック陸上競技大会の例年の優勝タイム)

